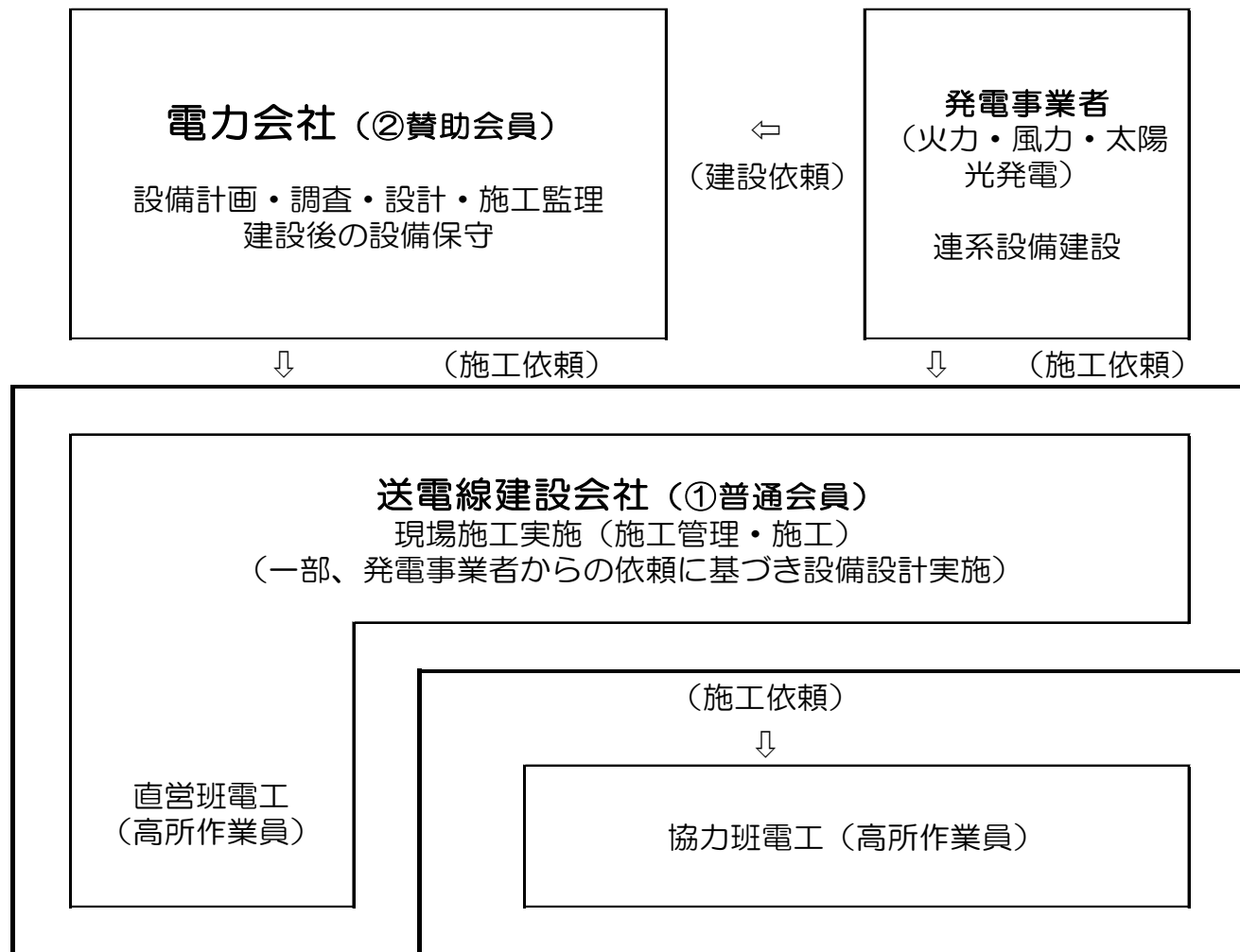


「送電線工事業界の課題」について

令和元年11月

一般社団法人 送電線建設技術研究会

送電線工事における「（一社）送電線建設技術研究会」の位置付け



会員の構成

①普通会員（１０７社）

- ・送電線工事業を営む法人及び団体

②賛助会員（１２社）

- ・電気事業者及び送電線を有する他事業者

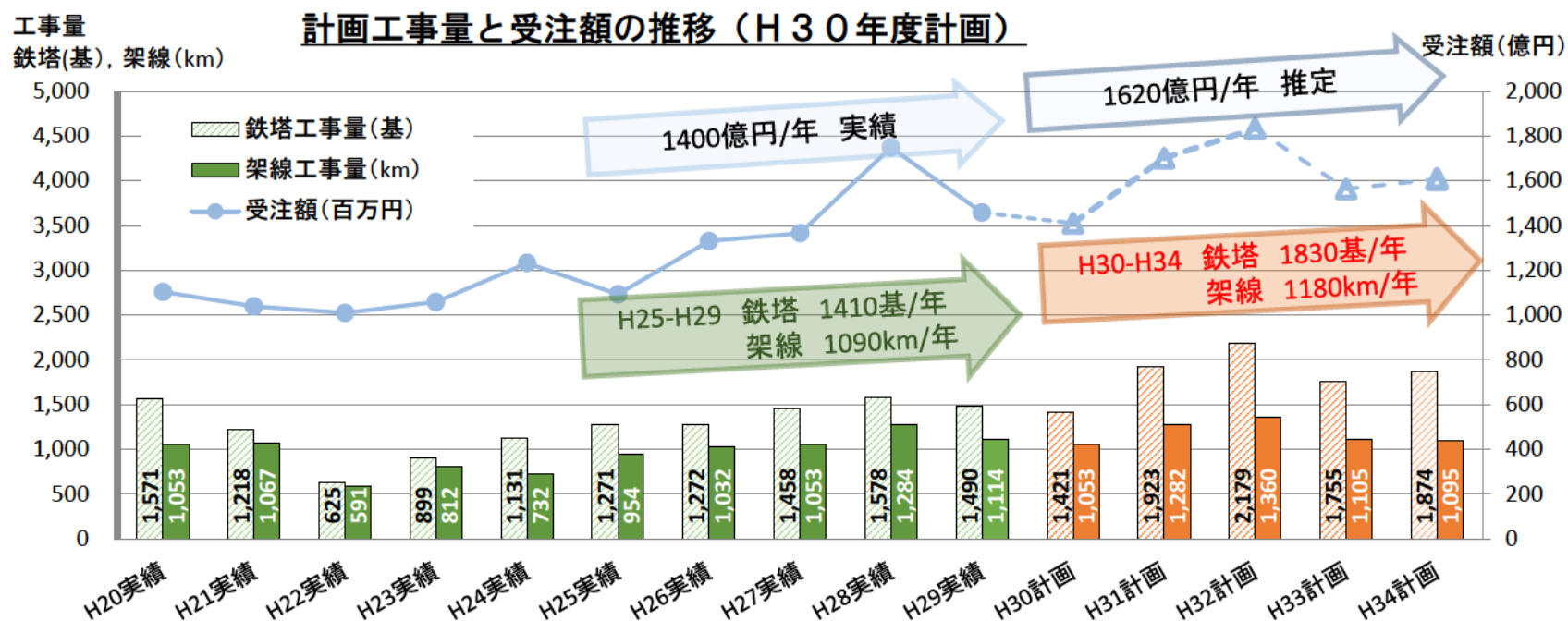
③維持会員（４２社）

- ・送電線建設に関連する業者及び団体

1. 統計調査結果「計画工事量」

○架空送電線5ヵ年計画工事量報告（H30-H34計画）

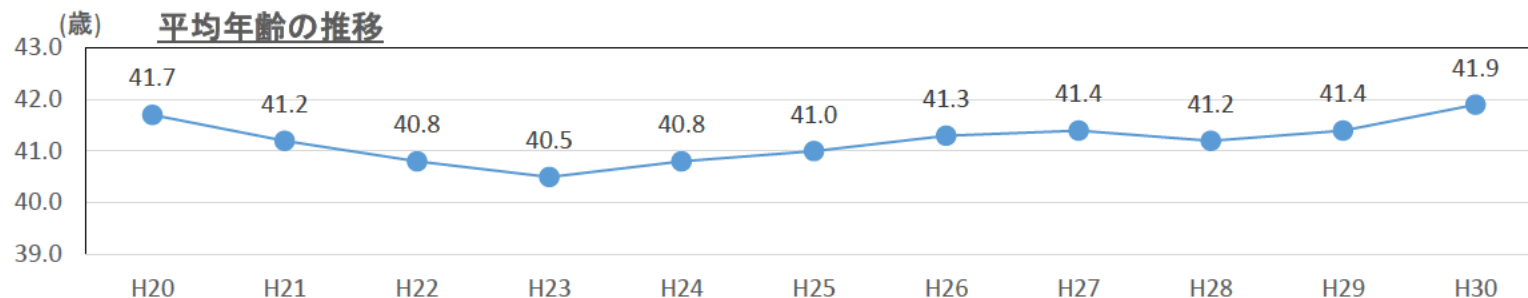
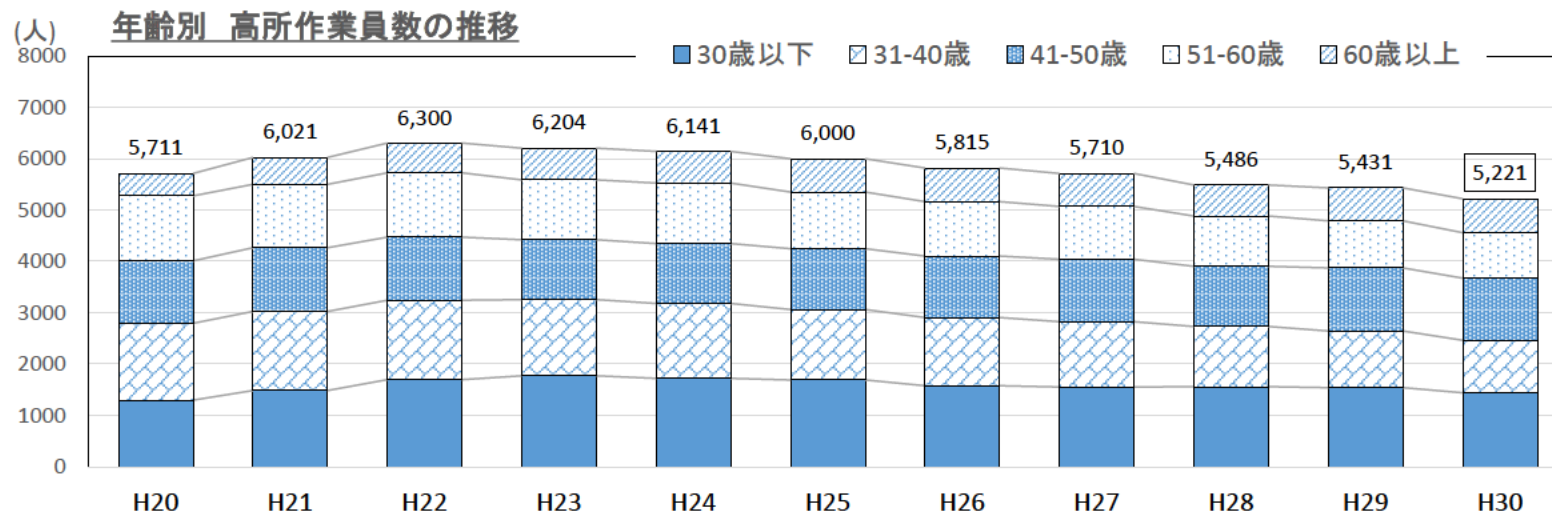
- ・鉄塔工事量 1,830基/年, 過去5ヵ年実績1,410基/年の 30%増加
- ・架線工事量 1,180km/年, 同上 実績1,090km/年の 8%増加
- ・推定受注高 1,620億円/年, 同上 実績1,400億円/年の16%増加



1. 統計調査結果「施工力」

○高所作業員在籍数調査（H30年度）

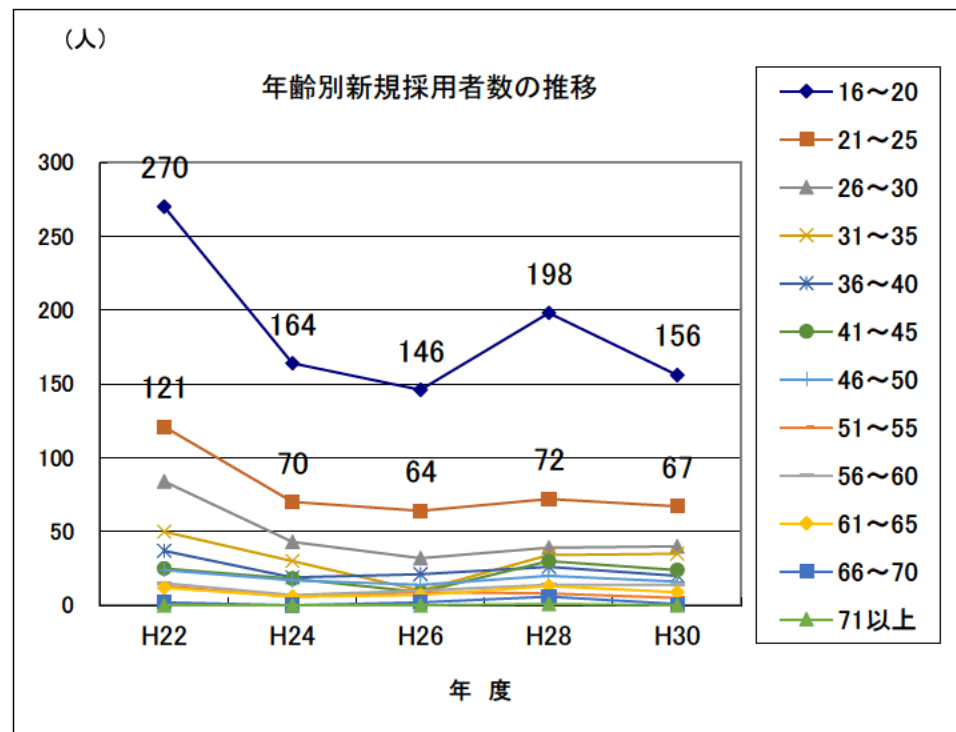
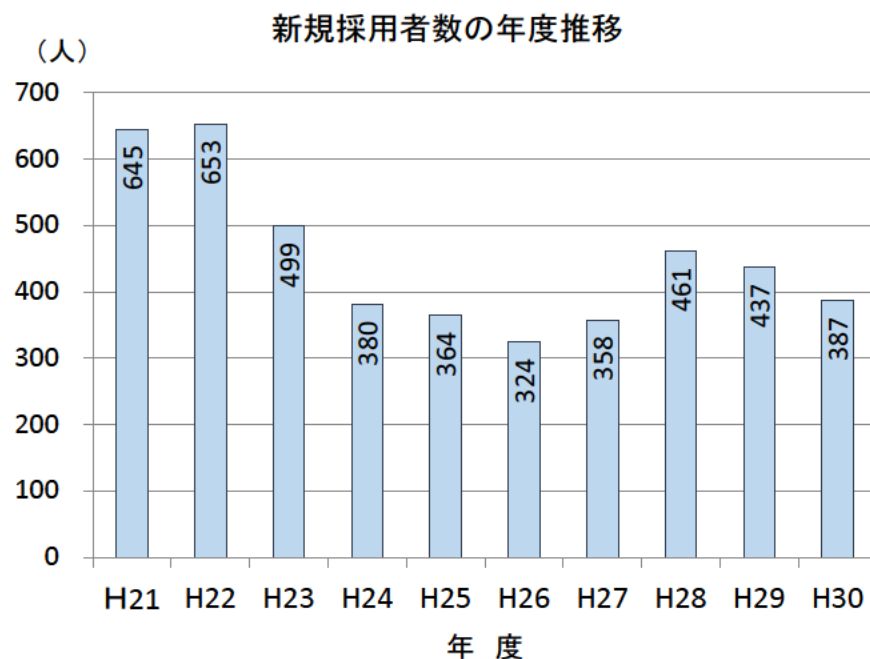
- ・高所作業員数は、5,221人で前年度から210人減少（除く、未登録在籍者）
- ・平均年齢は、0.5歳上昇（41.9歳）



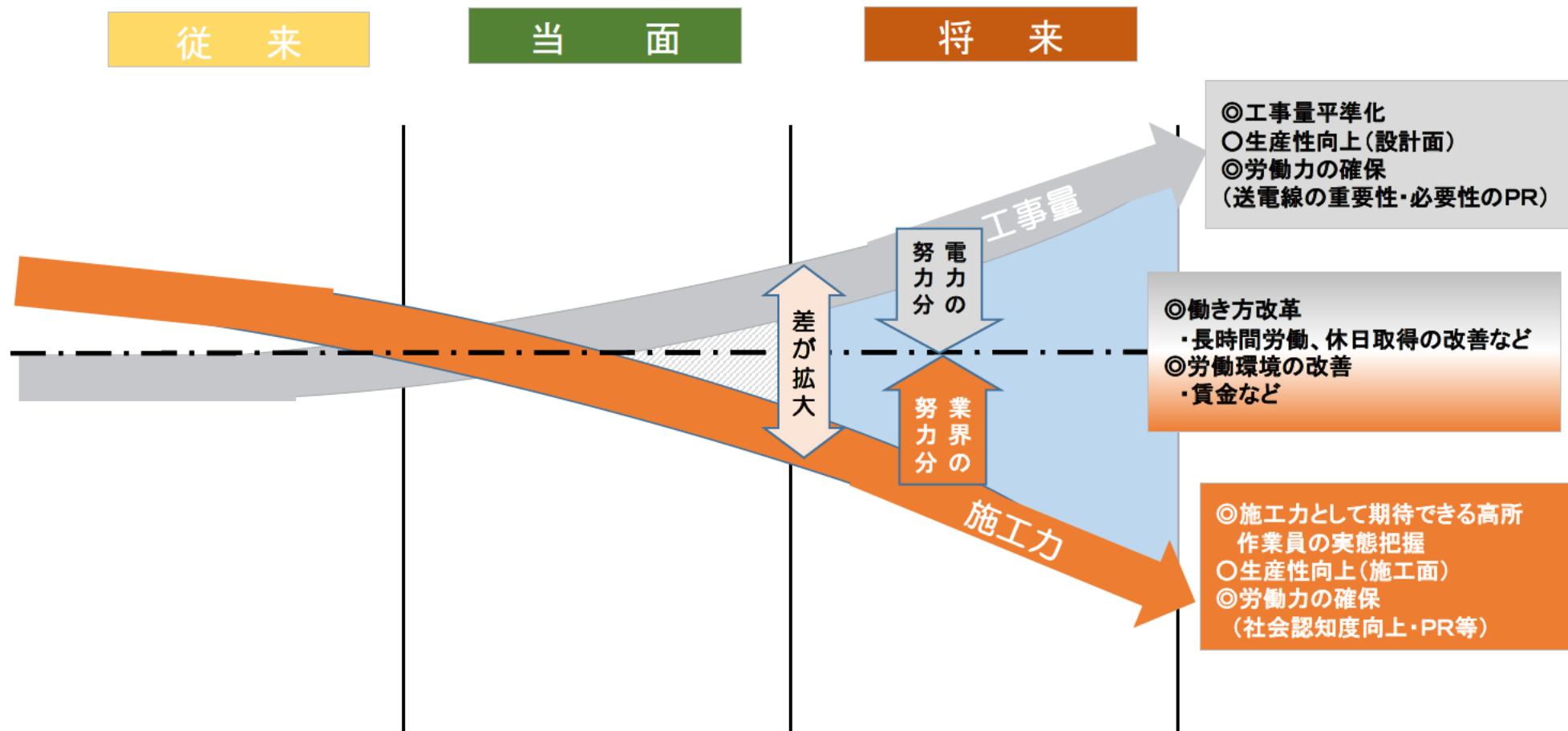
1. 統計調査結果「施工力」

○新規採用者の状況（H30年度）

- ・新規採用者数は、387人で前年度より若干減少した。
近年では、H22年の653人をピークに400人前後で推移している。
- ・年齢別では、20歳以下が156人(40%)で最も多く、次いで20歳台前半が67人(17%)となっている。



2. 課題の現状（課題認識・概念図）



4. 今後の活動の方向性

<総括>

(課題)	(方向性)	(具体的な活動)
施工力（高所作業員）の確保	送電の「技術・技能」の維持・継承	○「送電技能士認定制度」活用による整備 ○海外労働力確保に向けた評価体制の枠組み整備
	「高所作業員」の必要性、認知度向上	○電力・支部の連系によるリクルート支援活動（地域） ◎送電設備の重要性・必要性のPR活動（全国）
	就労環境改善（魅力ある職場作り）	○電力・支部の連系による計画的休日の確保（地域） ◎ハッピーマンデー制度を活用した一斉指定休日の実施（全国）

◎；全国大の活動として、電事連・電力会社にお願いする

<参考資料>

○新規採用（新卒）3年目までの離職率

- 厚生労働省の統計「新卒3年目までの離職率」を指標に、H15年から新卒採用者の離職状況を追跡調査した。
- 新卒3年目までの離職率は、H15年新卒採用者の57%が最も高く、その後40%程度で推移していたが、H23年以降は50%を超え、今回調査でも50%で高い離職率となった。

